

自然に包まれ食事、演奏堪能

「六甲山大学」10周年で催し

六甲山を大学のキャンパスに見立て、多彩なイベントや情報を発信する「六甲山大学」が10周年を迎え、

ている。

記念の催しが、灘区六甲山町のカフェ「サード・プレイス・ロッコウ」で開かれた。参加者は、木々に囲まれた空間で食事やバイオリンの調べを楽しんだ。

同大学実行委員会は2012年に発足。神戸新聞では毎月第4火曜日に特集紙面「六甲山大学」を掲載し

記念の催しは「六甲山・

木立の中でクック&ミュージック・キャンプ」と題して開催。昼と夜の2部に計40人が参加した。

参加者は自然の中、炭火であぶったベーコンや野菜に舌鼓を打った。食事後は「高嶋ちさ子12人のヴァイオリニスト」の一員として活躍する小谷泉さん、西宮

市出身の山をテーマにしたヨーロッパ民謡のメドレーや、「山の魔王の宮殿にて」などのクラシックを披露した。

友人と参加した団体職員
の山田陽子さん、東灘区は「景色が目に見え、日常を忘れてリフレッシュできた」と満足そうだった。

(小尾絵生)



木漏れ日の中、伸びやかな音色で観客を魅了する小谷泉さんら「サード・プレイス・ロッコウ」